

一般質問 町政を 問う!!



おくもと てるや 議員

漁業振興

今の漁業、どう守るか 課題を把握し、支援策を検討する

問 現役漁業者の持続的な支援の取り組みについて問う。

答 今西海洋森林課長

安心して漁業を継続できる経営環境をつくるため、町としても今まで様々な各種事業に取り組んできた。しかし町内の第一次産業全体を取り巻く経済環境は決して好転しているとは言えない状況がある。

漁業者が抱える喫緊の課題を的確に把握し、地域の実情を踏まえた効果的な支援策を関係機関と情報共有し検討を進めていく。

問 産業振興における漁業の現在の取り組みは。

答 秋森産業推進室長

ふるさと納税において、9割以上の返礼品が魚介類となっており、産業振興において漁業は重要な産業である。地元の漁業者や水産関係事業者への直接的、間接的な収益の獲得支援に繋がっている。観光面ではホエールウォッチングの収益も漁

業者に繋がっている。

今後ふるさと納税における返礼品として魚介類の活用や、ホエールウォッチングによる誘客促進に努めながら、漁業者の支援に繋げていく。

問 漁業後継者の現状は。

答 今西海洋森林課長

高齢化と後継者不足は深刻な状況にある。

本年度の新規漁業就業支援事業の取り組み状況は、佐賀地区3名、定置網漁業の雇用型支援事業で伊田地区2名、合計5名が研修中。

問 5年後を見据えた町の漁業に対する危機感について問う。

答 今西海洋森林課長

町の人口推移において、2030年には総人口8408人になるとシミュレーションされている。人口減少、高齢化に伴い漁業を廃業、引退は避け

られないと認識しており、大きな危機感を持っており。現行の制度では十分対応出来ない点や課題解決の糸口となる新たな制度設計、経営体における事業の承継などを含め、県内統一で取り組むものと町独自で取り組んでいく部分を精査し、必要となる新たな施策について、喫緊の検討課題として取り組む。

新たに漁業を目指している方が、安定して生計を立てることが出来る持続可能な漁業の構築が重要と考える。



放流の成果が見られるようになった白アマダイ



現在、後継者も操業しているはえ縄漁。